

11

融資審議書管理の事例

業種：総合ファイナンス

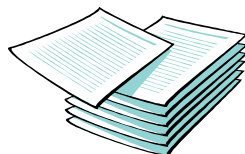
業務：融資先企業の審議書管理

導入前の業務内容

- ・東京、大阪の二拠点で融資の審議書（3000顧客分×30枚）を紙で管理。新規200顧客/月。
- ・審議書類は、様々な原稿サイズがある。



融資契約



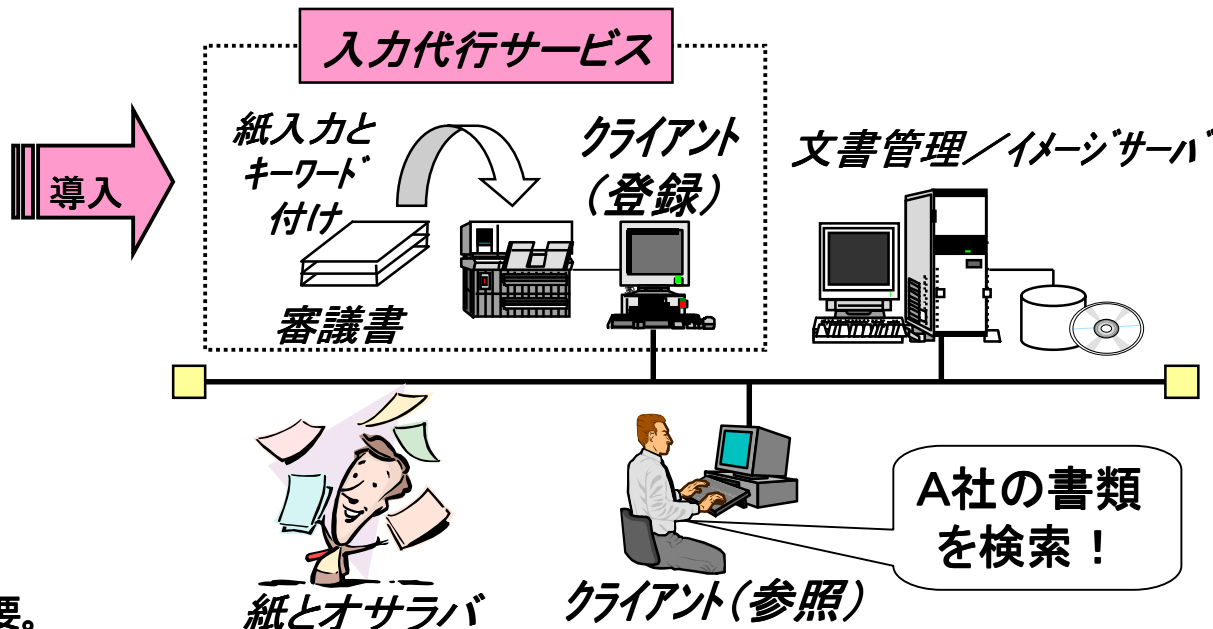
融資先企業の審議書
(3000顧客分)

業務上の問題点

- ・膨大な審議書を保管するスペースが必要。今後5000顧客まで増やしたいが...
- ・必要となった時に探し出すのに時間がかかる。
- ・紙書類なので劣化していく。
- ・電子化したいが初期入力に手間がかかる。

導入後のシステム

- ・膨大な審議書類の初期入力は、入力代行サービスを利用。スキャナは、高速、原稿サイズ自動検知の機種を導入。
- ・東京・大阪の拠点をグループウェアで社内情報共有。



導入の効果

入力代行サービスの利用で、業務に影響なく入力作業。審議書の確実な長期保管ができ保管スペース削減。社内で情報共有し、誰でも自席で高速参照。